



はしもと

参加費 無料

定員 200名

リハビリテーション市民講座 ～ 脳卒中でお悩みの皆さん ～

第1回

脳卒中になっても、助かる確率は高くなっています。しかしながら、その後の生活に不安が残ることには変わりありません。本講座では、自らの生活を取り戻すための、脳卒中後のリハビリテーション医療について、具体例を交えわかりやすくお話しします。

2015年

6月27日 土 14:00-16:00

三豊市市民交流センター(三豊市豊中町本山甲192-1) 受付 13:30～

第1部 14:00～15:00

「リハビリテーションは、今」

講師

橋本 康子

(医師・医学博士)

医療法人社団和風会 橋本病院 理事長

日本慢性期医療協会 常任理事

慢性期リハビリテーション協会 副会長



第2部 15:00～16:00

「もし脳卒中になっても」

講師

吉尾 雅春

(理学療法士・医学博士)

千里リハビリテーション病院 副院長

医療法人社団和風会 橋本病院 顧問



回復期リハビリテーション病棟：言語聴覚士

誤嚥性肺炎とは？

食べ物や唾液などが誤って食道ではなく気管に入り、肺に流れ込み細菌が繁殖することで起こる肺炎のことを言います。高齢者や脳梗塞の後遺症がある方など、飲食物を飲み込む嚥下機能が衰えている人に起こりやすいと言われていました。平成23年厚生労働省の調査では、日本の死因第1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位が肺炎となっています。肺炎の中でも誤嚥性肺炎の割合が最も多く、約70%が誤嚥性肺炎で亡くなっています。さらに高齢になるにつれてその割合は増加します。

<加齢に伴う食事の問題>

- ・注意力や集中力の低下
- ・飲み込む力が弱くなる
- ・唾液の分泌が減少する
- ・嚥む力が衰える
- ・飲みこみの反射が遅くなる
- ・喉頭(喉仏)の位置が下がる
- ・味の感覚が鈍くなる



<食事のチェックポイント>

- ・意識状態
- ・口腔内の状態
(清潔や歯の有無、舌の動きなど)
- ・食事内容
(個々にあった形態、とろみなど)
- ・姿勢
- ・1口量
- ・食べる速さ



当院には6名の言語聴覚士が所属しています。食事や嚥下について、気になることがありましたらお気軽にご相談下さい。

回復期リハビリテーション病棟：看護師

内服薬の自己管理について

入院中は主に看護師が内服薬の管理を行っていますが、退院後は内服薬を自己管理する場合があります。回復期の患者様の中には高次脳機能障害、認知機能低下などにより、自己管理が困難な場合があります。このような場合には、内服薬管理の判断基準項目の点数をもとに主治医と相談し許可があると看護師が患者様に説明し自己管理が開始となります。自己管理が定着するまでは、日付けの間違ひ、薬の間違ひ、薬の飲み忘れを防ぐために看護師が食事毎に確認を行っています。正しい内服が可能となる様に下記の写真のような、カレンダー式の物やBOX式の管理方法を取り入れており、患者様に合った方法を選択しています。内服薬は病気を治すために不可欠であり、飲み過ぎ、飲み忘れなどによって効能にも影響が出てきますので、用法・用量を守り、正しく服用することが大切です。



ご自宅へ帰っても、正しく内服できるよう入院中から一緒に練習していきましょう。何か気になることや不安なことがあれば、お気軽に各病棟の看護師まで声をかけてください。



ソーシャルワーカー

MSW(医療ソーシャルワーカー)とは？

Q:MSWっていったい何をする人なの？

A:当院には各病棟にMSW(医療ソーシャルワーカー)が配属されています。そもそも、「MSWっていったい何をする人なの？」と思っている人は多いと思います。

- 自宅では生活できそうにないから、退院後に生活できる場所を探したい。
- 突然の病気やけがでこれからどうすればいいの？
- 入院中の医療費が心配・・・。
- 退院後の生活が心配・・・。

このような生活での不安に対し、相談やサービスの情報提供を行い、患者様や御家族様のサポートを行います。

Q:MSWという資格があるの？

病院で働いて何か資格を持っているんじゃないの？MSWという資格もあるんですか？

A:MSWという国家資格は整備されていません。医療福祉に関わる知識を身につけて、相談業務全般を担当させていただいています。当院では、福祉全般に関わる国家資格である『社会福祉士』を取得したスタッフが、MSWとして勤務しております。

当院では、各病棟にMSWを配置しています。これによりご相談等に対してよりきめ細かな迅速な対応ができるように取り組んでいます。

※お気軽にご相談下さい！！



認知症治療病棟

お出かけ町

今年度、認知症治療病棟では外出の機会を提供するために、毎月お出かけをすることが目標です。4月は、お花見の時期なので、病棟の活動で中庭に桜を見るために散歩したり、4月7日～8日にDT活動として財田川河川敷に花見に行きました。あいにくのお天気でしたが、「寒いな」と毛布に包まりながら「来年も見に来たいな」と話しをしました。自分の足でお花見ができ、満足そうな表情をして帰院しました。病棟内でも、なじみの患者様同士で誘い合って花見をしていたり、窓から見える桜を写真に収めるようスタッフに声掛けしてくれる患者様がおられました。



景色を見るだけでなく花に直接触れたり匂いを嗅いだり、土の上を歩く等季節を五感で感じて楽しむ時間を提供し、認知機能の賦活が行えるよう、今後もケアを行わせていただきます。



通所リハビリテーションセンターはしもと

遊ビリテーション



情緒あふれる熱唱で大盛り上がり!!
皆さん十八番を歌って大満足でした。

創作活動



4月・5月とかけて超大作を作成しました。
壁一面の大迫力で利用者様も大喜び!!
今の季節にぴったりなものが仕上がりました。

家族会



4月29日 家族会開催
利用者様、家族様も参加し、盛大に開催しました。
紙芝居やダンス、ハーモニカの演奏に大変喜ばれていました。

介護保険改訂のお知らせ

4月より介護保険改訂に伴い、これまで以上にリハビリに力を入れる
様にサービス内容が変更になりました。これからも宜しくお願いします。

お知らせ

6月13日(土):スマイルカフェ開催
時間:9:30~12:00
季節にあった創作活動、健康体操等行います。ぜひご参加ください。

放射線科

これからがピークの紫外線

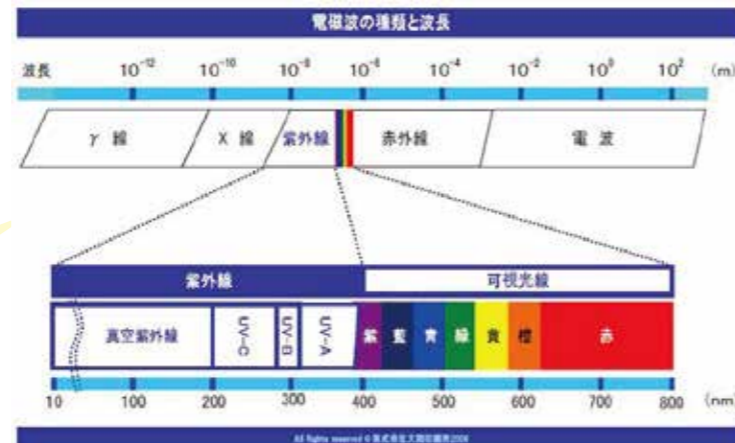
紫外線(しがいせん、英: ultraviolet)は可視光線より短く軟X線より長い目に見えない電磁波のひとつです。



紫外線波長

紫外線は可視光(約380nm紫色~780nm赤色)より波長が短く、目に見えません。
UV(紫外線)ランプの光は『青白く見える可視光』と紫外線が混ざったものです。

紫外線はもちろん夏に多いのは当然ですが、
紫外線の強さは1年で6月から8月がもっとも
強くなります。また、高地ほど紫外線は強くなり
ますし、場所や天候によっても量が変わります。
適切な紫外線対策を行うようにしましょう。



- ~1pm 宇宙線
- 1pm~100pm ガンマ線(γ-ray)
- 100pm~10nm レントゲン線(X-ray)
- 10nm~400nm 紫外線(Ultra-Violet)

橋本病院指定居宅介護支援事業所

健康のつくりかた ~水分補給の大切さ~



○ 体水分について

成人の場合個人差はありますが水分が体重の50~70%を占めています。
新生児では70~80%だったものが高齢者では50%程度まで減少します。

○ 水分の役割

①体温調節 ②筋肉を動かす働き ③血液として栄養素を全身に運ぶ ④汗や尿として老廃物を体外に出す

○ 水分摂取のポイント

こまめに・・・一度にたくさんの水分を摂取してもうまく吸収することができません。
こまめに少量の水分を摂取するようにしましょう。

意識的に・・・「のどが渴いた」というタイミングでの水分摂取では、水分量が不足する可能性が高くなります。
運動時は意識的に水分摂取を行うようにしましょう。

運動した後も・・・激しい運動をした後や翌日は水分量が減少します。
特にこまめな水分補給を行い、リカバリーを行いましょう。

○ 運動時の水分補給のコツ

からだの外に出ていく汗等には水分だけでなくミネラルも含まれます。
ある程度塩分(ナトリウム)が含まれるもの、疲労予防のために糖質を含んだものが効果的です。

・ナトリウムが40~80mg/100ml入っているもの

・糖質が4~8%含まれるもの

市販のスポーツドリンクのほとんどがこれに当てはまりますので活用しましょう。

メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと

社会療法 お花見



メディコポリス観音寺では機能訓練の一環として
外出行事を取り入れております。先月は不動の
滝へお花見に行きました。満開の桜を見ながら
隣の方とお話したり施設内とは違う、砂地の地
面やアスファルトの道を歩いたりして春らしい季
節を五感で感じて楽しんでおられました。

春の演奏発表会



当施設には利用者様の合唱グループ「森のひよ
こ隊」があり、季節毎にそれまで練習してきた手
遊び歌などを皆様の前に出て発表する機会を設
けております。
本番は緊張されながらも上手に演奏されました。
発表後は「楽しかった」「上手に出来てよかった」
と喜ばれていました。

利用相談・施設見学を随時受け付けています。 担当者:森・高橋

医療法人社団和風会 メディコポリス観音寺 デイサービスセンターはしもと

香川県観音寺市観音寺町甲2972番地1 TEL:0875-23-3311 FAX:0875-23-3527

HPアドレス: <http://www.wafukai-hashimoto.jp/>



講演会のお知らせ



脳卒中になっても、助かる確率は高くなっています。しかしながら、その後の生活に不安が残ることには変わりありません。本講座では、自らの生活を取り戻すための、脳卒中後のリハビリテーション医療について、具体例を交えわかりやすくお話しします。

2015年

6月27日 土 14:00-16:00

三豊市市民交流センター
三豊市豊中町本山甲192-1

受付 13:30~

14:00~15:00

「リハビリテーションは、今」

講師：橋本 康子 (医師・医学博士)

医療法人社団和風会 橋本病院 理事長

日本慢性期医療協会 常任理事

慢性期リハビリテーション協会 副会長



15:00~16:00

「もし脳卒中になっても」

講師：吉尾 雅春 (理学療法士・医学博士)

千里リハビリテーション病院 副院長

医療法人社団和風会 橋本病院 顧問



【お申し込み・お問い合わせ】

医療法人社団和風会 橋本病院 地域連携室

セミナー事務局 0875-63-3780

FAX 0875-63-2651

E-mail wafukai@gaea.ocn.ne.jp

募集のお知らせ

募集

薬剤師
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職
常勤・パート



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも
閲覧できます。

<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

※勤務形態等については、柔軟に対応できます。Tel0875-63-3311(人事担当:安藤)

ボランティアのご協力

ボランティアのご協力をしていただけの方を募集しています！

内容として…(踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など)

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先:0875-63-3311 担当者:宮本 美恵子

メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先:0875-23-3311 担当者:森 香代子

上記の担当者までお問い合わせ下さい。

医療法人社団和風会 橋本病院

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西902-1

TEL:0875-63-3311

FAX:0875-63-2651

入院相談直通電話:0875-63-3552

E-mail:wafukai@gaea.ocn.ne.jp

ホームページ:<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

発行元:橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床

療 認知症治療病棟 60床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所

通所リハビリテーションセンターはしもと

メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと

橋本病院観音寺指定居宅介護支援事業所

